



第

1

部

# 人類生態学からみた人口

大塚柳太郎

11

## 第一章 人類史のなかでの人口問題

- 人口についての認識…………… 13
- 多産と多死の人口バランス…………… 15
- 「汎地球動物」としての人類…………… 17
- 人類史上に革命を起こした食糧生産の発明…………… 20
- r戦略者とK戦略者…………… 21
- 霊長類の生殖パターン…………… 23
- なぜ生涯出産数には個人差があるのか…………… 25
- 「自己家畜化」でr戦略者の特徴を獲得する…………… 28

## 第2章 人口支持力と人口密度

- 食糧生産と人口支持力……………31
- 農耕文化の違いで人口支持力に差が出る……………33
- 稲作文明が人口を増やす……………35

## 第3章 伝統社会での事例

- 人口密度の地域性……………40
- パプアニューギニアの「採集狩猟社会」へギデラ……………42
- 焼畑農耕で高まるギデラの人口支持力……………44
- 人口を養うために食文化を変えるへオク……………45
- 肥沃な土壌で進む人口過密化へフリ……………47
- 国家の人口抑制策で少子化に転換へジノ……………49
- 伝統的な価値観が出生抑制を阻害へヨルダンのアラブ社会……………51

## 第4章 出生・死亡の構造を変える人口転換

- ヨーロッパで始まった人口転換……………55
- 予測を超えて急増した人口……………59
- 出生率低下の効果はすぐには表れない……………61
- 地球人口の将来は途上国の変化で決まる……………63

## 第5章 真のK戦略者への道

- 二十一世紀後半に地球人口は一〇〇億になる……………67
- アフリカの人口は倍増する……………69
- 新たな戦略を実現する社会へ……………72

# 人口減少のメカニズムと先進国の行方

鬼頭 宏

## 第6章 近代工業化と人口転換

- 人口動態で対局をなす先進国と発展途上国 ..... 77
- 出生力転換はどのように始まったか ..... 79
- 「消費財」化する子ども ..... 82
- 近代国家の道のりと日本の人口動態 ..... 84
- 晩婚、非婚と少子化 ..... 88

## 第7章 文明の成熟と少子化

- 経済成長で崩壊する「皆婚社会」 ..... 92
- 日本列島の人口波動 ..... 95
- 人口停滞期に花開いた日本の文化 ..... 98
- 文明システムの転換と人口調節機構 ..... 100

## 第8章 人口減少社会と地球環境

- 人口減少社会のメリット ..... 103
- 環境への負荷量で人口問題を読む ..... 106
- 地球が維持できる最大人口とは ..... 110
- ゼロ成長社会に求められる「持続可能な開発」 ..... 111
- 少子社会型の経済学の模索 ..... 113

●豊かな少子高齢化社会を築く……………114

第9章 江戸後期は適度人口社会か？

●「最適人口の社会」は実現できるか……………116

●資源消費量のインパクト……………117

●持続可能な社会としての江戸後期……………120

●人口停滞の経済学的解剖……………123

●徳川文明と環境の制約……………125

第10章 長寿命社会を生きる

●「高齢化社会」という新しい文明……………128

●高齢活力が生かされていた江戸時代……………132

●変容する家族観と世帯規模の縮小……………134

●高齢者の生活は誰が支えていくか……………136

●アクティブ・エイジング社会の創造……………140

第3部

DISCUSSION 人間圏の限界と「人口」の意味

145

大塚柳太郎・鬼頭 宏・松井孝典

I 人類はK戦略者に戻れるか

●農耕、牧畜でヒトは個体数を増やしてきた……………147

●サルよりヒトの繁殖力は旺盛……………149

## II 社会システムの成熟がもたらしたもの

- 「家畜化」でヒトは多産になった…………… 151
- 労働生産性を上げれば人口は増える…………… 153
- ヒトは常にぎりぎりまで増えていた…………… 155
- 人口転換の時間差に意味はあるか…………… 157
- 急激だった日本の人口転換…………… 159
- なぜヒトは世界中に拡散したのか…………… 161
- 誰が出産の意思を決定するか…………… 164
- 子どもをつくる価値観の変化…………… 168
- 人類が初めて経験する死亡率の急落…………… 170
- 生活水準を落とさずに環境を維持できるか…………… 172
- 「適度人口」の発想には時間概念がない…………… 174
- 少子高齢化にメリットはあるか…………… 177
- 親元を離れても自立しない日本人…………… 180
- 日本人は老親に冷淡？…………… 182
- 江戸の夫婦も避妊を望んでいた…………… 183
- 授乳は子育てと避妊に不可欠…………… 185
- 江戸後期の出生率の低下と森林開発…………… 187
- 長寿化で見直される家族制度…………… 190
- 高齢者の概念を変える…………… 191
- 危機管理としての高齢化対策…………… 194

●期待される高齢者パワー……………196

### III 地球人口一〇〇億の世界

●次世代の人口論……………199

●農耕の開始と人口増加の因果関係……………202

●生産技術の向上はどんな影響力をもつか……………204

●食文化という食糧問題……………206

●途上国も問題意識はもっている……………208

●江戸時代を支えたのはサツマイモ？……………210

●一〇〇億の人口でも食糧は枯渇しない……………213

### IV 新しいユニットの構築に向けて

●「シングル」の選択と日本の少子化……………217

●社会の発展と有配偶出生率の関係……………219

●ニューギニアの子育て事情……………221

●少子化は先進国だけの問題か……………223

●どうしたら日本の出生率は高まるか……………226

●政策、制度で人口はコントロールできるか……………227

●家族制度の崩壊で人口は減少する……………230

●国家にも家族にも求心力がない……………232

●人間圏のビッグバン……………234

あとがき……………240

